平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年8月10日

上場会社名　チタン工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4098　URL　http://www.titankogyo.co.jp
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 松川　正典
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長　(氏名) 重永　俊雄　TEL 0836-31-4155

四半期報告書提出予定日　平成24年8月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,500	△18.1	116	△59.2	104	△62.8	900	222.3
24年3月期第1四半期	1,832	22.5	285	178.4	280	211.3	279	242.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	29.90	―
24年3月期第1四半期	9.28	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	12,246	5,378	43.9
24年3月期	11,788	4,596	39.0

(参考) 自己資本　25年3月期第1四半期　5,378百万円　24年3月期　4,596百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	3.00	3.00
25年3月期	―				
25年3月期(予想)		0.00	―	4.00	4.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,800	△17.8	160	△60.1	130	△65.6	800	115.3	26.57
通期	6,400	5.7	430	△20.4	380	△25.2	1,200	139.2	39.85

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	30,276,266 株	24年3月期	30,276,266 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	163,292 株	24年3月期	162,476 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	30,113,110 株	24年3月期1Q	30,119,631 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1．当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
(1)経営成績に関する定性的情報 …… 2
(2)財政状態に関する定性的情報 …… 2
(3)業績予想に関する定性的情報 …… 2

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 2

３．四半期財務諸表 …… 3
(1)四半期貸借対照表 …… 3
(2)四半期損益計算書 …… 5
(3)継続企業の前提に関する注記 …… 6
(4)セグメント情報等 …… 6
(5)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 6

１．当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1)経営成績に関する定性的情報

当第１四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興需要等により、緩やかながら回復の動きが見られましたものの、欧州政府の債務危機問題や円高の長期化など、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような情勢のもとで、当社は、新規事業の規模拡大及び新製品の拡販に全力を傾注し、持続的な成長に向けた収益基盤の確立に取り組んでまいりました。

その結果、新製品の拡販及び既存製品の用途展開による出荷数量の増加などの成果をあげることができましたものの、タイの洪水被害の長期化及び欧州の景気後退などの影響を受け、当第１四半期累計期間の売上高は、前年同期を下回る1,500百万円（前年同期比18.1%減）となりました。

一方、損益面につきましては、売上高の減少及び設備稼働率の低下などにより、営業利益は116百万円（前年同期比59.2%減）、経常利益は104百万円（前年同期比62.8%減）となりました。また、投資有価証券評価損及びたな卸資産評価損を特別損失に計上いたしましたが、チタン酸リチウムの増産投資に対する経済産業省の補助金収入を特別利益に計上いたしましたので、四半期純利益は900百万円（前年同期比222.3%増）となりました。

チタン酸リチウムは電気自動車や高性能電力貯蔵用のリチウムイオン２次電池の部材として、将来の大きな成長が見込まれておりますので、当社の新規事業分野と位置づけ、新規事業を強化、拡大するため、当該設備の増設に着手し、平成24年４月に増設工場を竣工いたしました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

（酸化チタン）

高付加価値品の超微粒子酸化チタンは、新製品の開発と拡販に注力いたしました結果、ＵＶカット化粧品向けやトナー外添剤向け新製品の出荷数量が順調に増加いたしましたが、既存製品はタイの洪水被害の長期化及び欧州の景気後退による一部ユーザーでの生産調整の影響を受け、出荷数量が減少いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は947百万円（前年同期比23.9%減）となり、既存製品の設備稼働率の低下や原燃料価格の値上がりなどにより、営業利益は47百万円（前年同期比78.6%減）となりました。

（酸化鉄）

酸化鉄につきましては、鋭意、拡販に注力いたしました結果、既存製品の用途展開による新規採用などの成果が得られましたものの、欧州の景気後退による一部ユーザーでの生産調整の影響を受け、トナー向け新製品の出荷数量が減少いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は540百万円（前年同期比4.2%減）となりましたが、コスト削減効果などにより、営業利益は64百万円（前年同期比12.7%増）となりました。

(2)財政状態に関する定性的情報

資産につきましては、投資有価証券の減少などがあったものの、現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加などから、当第１四半期会計期間末12,246百万円と前事業年度末と比べて458百万円増加いたしました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金、未払法人税等の増加などがあったものの、短期借入金、賞与引当金、長期借入金の減少などから、当第１四半期会計期間末6,867百万円と前事業年度末に比べて324百万円減少しております。

純資産につきましては、その他有価証券評価差額金の減少があったものの、利益剰余金の増加などから、当第１四半期会計期間末5,378百万円と前事業年度末に比べて782百万円増加いたしました。

(3)業績予想に関する定性的情報

第２四半期累計期間・通期の業績予想につきましては、現時点では平成24年５月14日に公表いたしました業績予想と変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

３．四半期財務諸表
(1)四半期貸借対照表

（単位：百万円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	888	1,237
受取手形及び売掛金	1,164	1,474
商品及び製品	1,434	1,473
仕掛品	400	413
原材料及び貯蔵品	591	588
その他	132	50
流動資産合計	4,612	5,238
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,213	1,553
機械及び装置（純額）	2,187	4,021
その他（純額）	2,899	620
有形固定資産合計	6,300	6,195
無形固定資産	2	2
投資その他の資産		
投資有価証券	495	432
その他	388	388
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	873	809
固定資産合計	7,175	7,007
資産合計	11,788	12,246
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	689	727
短期借入金	1,100	900
1年内返済予定の長期借入金	378	406
未払法人税等	14	83
賞与引当金	71	26
その他	887	783
流動負債合計	3,142	2,927
固定負債		
長期借入金	2,821	2,732
退職給付引当金	895	895
資産除去債務	3	3
その他	329	309
固定負債合計	4,049	3,940
負債合計	7,192	6,867

（単位：百万円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期会計期間 （平成24年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,443	3,443
資本剰余金	292	292
利益剰余金	766	1,576
自己株式	△30	△31
株主資本合計	4,471	5,281
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	124	97
評価・換算差額等合計	124	97
純資産合計	4,596	5,378
負債純資産合計	11,788	12,246

(2)四半期損益計算書
（第１四半期累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	1,832	1,500
売上原価	1,343	1,172
売上総利益	488	327
販売費及び一般管理費	203	210
営業利益	285	116
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	6	5
その他	8	4
営業外収益合計	15	10
営業外費用		
支払利息	14	18
その他	5	4
営業外費用合計	20	23
経常利益	280	104
特別利益		
補助金収入	－	961
特別利益合計	－	961
特別損失		
投資有価証券評価損	－	15
たな卸資産評価損	－	74
特別損失合計	－	89
税引前四半期純利益	280	976
法人税、住民税及び事業税	1	76
法人税等合計	1	76
四半期純利益	279	900

(3)継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4)セグメント情報等

前第１四半期累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日）

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他(注1)	合計	調整額	四半期損益計算書計上額(注2)
	酸化チタン	酸化鉄	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,246	563	1,810	22	1,832	－	1,832
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	1,246	563	1,810	22	1,832	－	1,832
セグメント利益（営業利益）	220	57	278	7	285	－	285

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、副産物等の販売を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

②報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第１四半期累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日）

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他(注1)	合計	調整額	四半期損益計算書計上額(注2)
	酸化チタン	酸化鉄	計				
売上高							
外部顧客への売上高	947	540	1,488	11	1,500	－	1,500
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	947	540	1,488	11	1,500	－	1,500
セグメント利益（営業利益）	47	64	111	4	116	－	116

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、副産物等の販売を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

②報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

以上